

第6学年「国語」学習指導案

授業者 小野澤 由美子

2月22日（金） 2階B室 9：00～9：40

話し合い 10：55～11：45

1 単元名 ことばっておもしろい

2 単元について

| | |
|----------|--|
| 単元 目標 | ○これまでの漢字学習をふり返り、関心をもったことばを決めて調べ、ことばのおもしろさについてプレゼンテーションをする。 ○他の発表を聴き、ことばのおもしろさを見つけ、ことばの世界を広げる。 |
|----------|--|

2学期に6年で習う181文字の漢字を調べ終え、漢字プリントを完成させた。出来上がった漢字プリントのふり返りをすると、「漢字一字に情景を見出す」、「漢字の意味を調べたことで漢字が映像としてとらえられる」など、「漢字は意味をもつ」ことの重要性を実感したことを書いた子が多かった。こうした実感を土台に、興味関心をもったことばをさらに調べていく。調べたことを、「ことばのおもしろさ」という観点でプレゼンテーションをし、人それぞれに感じるおもしろさをみんなで共有していくという単元を考えた。自分で決めたテーマをこつこつ調べ、プレゼンテーションをして伝えあう学習を経験してきている。ことばの学びの集大成になるように、ことばのおもしろさを追究させたい。

6年の国語週5時間のうち、1時間を担当し漢字の学習をしてきた。新出漢字を学び、調べたことを共有する時間を十分に取ながら、ことばの世界を広げられるよう進めてきた。自分で調べたり、漢字の情報を共有したりする学習を通して、興味をもったことば、また、さらに調べてみたいと思ったことばを見つけている。「ことば・おもしろバトル」という形で、これまでの国語の力を活用して、ことばのおもしろさについて、まずはファミリーの中でプレゼンテーションをし、おもしろさがよく伝わった発表を代表として決める。よりおもしろさが伝わるようにグループで協力して発表を改善し、代表がクラス全体に発表し、みんなでことばのおもしろさを共有する。聞き手として、代表の発表から自分とは違う切り口からのことばのおもしろさを見つけ、みんなでことばの世界を広げたい。「おもしろい」とはどういうことなのかを最後に考えていく。

3 学習指導計画（5時間目／全6時間）

- (1) これまでの学習を土台に、自分が興味をもっていることばを調べて、まとめる。 …2時間
※授業時間だけでなく、家庭学習でも、自分のペースで調べていく。
- (2) プレゼンテーションのための資料を作る。 …1時間
- (3) 「ことば・おもしろバトル」をし、グループ代表の発表を決め、協力して改善する。 …1時間
- (4) 代表者の発表を聴き、ことばのおもしろさを見つけてまとめる。 …2時間（1／2時間）

4 本時の学習について

(1) 本時のねらい

代表の発表を聴き、自分とは違う観点からのおもしろさに気づき、ことばの世界を広げる。

(2) 予想される本時の展開

| 主な学習活動と子どもの姿 | 留意点 |
|----------------------|--------------------------------------|
| ○代表者の発表を聴く。 | ・「どれだけおもしろさを見つけられるか」という観点で、発表を聴く。 |
| ○質疑応答の中で、おもしろさを見つける。 | ・自分とは違う観点からもおもしろさを感じることができていることに気づく。 |
| ○今日のなるほどを書く。 | ・何人が発表する。 |

□授業後の話し合いで話題にしたいこと

他の発表から、ことばのおもしろさを見つけ、感じ、おもしろさについて考えていたかどうか。